

【表紙】

【提出書類】	半期報告書の訂正報告書
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成27年12月24日
【中間会計期間】	第99期中（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	福井鉄道株式会社
【英訳名】	FUKUI RAILWAY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 村田 治夫
【本店の所在の場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778) 21 0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【最寄りの連絡場所】	福井県越前市北府二丁目5番20号
【電話番号】	(0778) 21 0700
【事務連絡者氏名】	総務部主任 辻本 賢作
【縦覧に供する場所】	該当なし

1【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年12月26日に提出いたしました第99期中（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するために半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の中間連結財務諸表については、新日本有限責任監査法人により監査を受けており、中間監査報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態の分析

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

中間連結株主資本等変動計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第97期中	第98期中	第99期中	第97期	第98期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
純資産額(千円)	516,553	418,838	374,621	662,559	502,648
総資産額(千円)	4,206,257	4,055,772	3,978,490	4,792,698	4,826,804
1株当たり純資産額(円)	696.68	564.71	505.54	893.99	678.55
自己資本比率(%)	12.3	10.3	9.4	13.8	10.4

(訂正後)

回次	第97期中	第98期中	第99期中	第97期	第98期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
純資産額(千円)	461,003	363,288	319,071	607,009	447,098
総資産額(千円)	4,150,707	4,000,222	3,922,940	4,737,148	4,771,254
1株当たり純資産額(円)	621.62	489.64	430.48	818.93	603.48
自己資本比率(%)	11.1	9.1	8.1	12.8	9.4

第2【事業の状況】

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、3,978,490千円（前連結会計年度末4,826,804千円）となり848,313千円減少いたしました。（以下略）

(訂正後)

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、3,922,940千円（前連結会計年度末4,771,254千円）となり848,313千円減少いたしました。（以下略）

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の中間連結財務諸表及び中間会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、中間連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の中間連結財務諸表及び中間会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の中間財務諸表について、新日本有限責任監査法人により中間監査を受けております。

なお、半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により監査を受けております。

1 【中間連結財務諸表等】

(1) 【中間連結財務諸表】

【中間連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2 62,547	2 63,651
長期貸付金	1,271	456
繰延税金資産	86,521	74,680
その他	97,358	101,500
貸倒引当金	7,240	5,554
投資その他の資産合計	240,457	234,734
固定資産合計	3,092,056	3,036,848
資産合計	4,826,804	3,978,490
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	535,553	663,118
株主資本合計	151,182	278,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,432	3,785
土地再評価差額金	5 657,743	5 656,636
その他の包括利益累計額合計	653,311	652,850
少数株主持分	518	518
純資産合計	502,648	374,621
負債純資産合計	4,826,804	3,978,490

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	2 62,547	2 63,651
長期貸付金	1,271	456
繰延税金資産	30,971	19,130
その他	97,358	101,500
貸倒引当金	7,240	5,554
投資その他の資産合計	184,907	179,184
固定資産合計	3,036,506	2,981,298
資産合計	4,771,254	3,922,940
負債の部		
(中略)		
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	284,370	284,370
利益剰余金	591,103	718,668
株主資本合計	206,732	334,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,432	3,785
土地再評価差額金	5 657,743	5 656,636
その他の包括利益累計額合計	653,311	652,850
少数株主持分	518	518
純資産合計	447,098	319,071
負債純資産合計	4,771,254	3,922,940

【中間連結株主資本等変動計算書】
 (訂正前)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
株主資本		
(中略)		
利益剰余金		
当期首残高	377,209	535,553
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
当中間期変動額合計	236,684	127,565
当中間期末残高	613,894	663,118
株主資本合計		
当期首残高	7,160	151,182
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
当中間期変動額合計	236,684	127,565
当中間期末残高	229,523	278,748
その他の包括利益累計額		
(省略)		
純資産合計		
当期首残高	662,559	502,648
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	7,037	461
当中間期変動額合計	243,721	128,027
当中間期末残高	418,838	374,621

(訂正後)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
株主資本		
(中略)		
利益剰余金		
当期首残高	432,759	591,103
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
当中間期変動額合計	236,684	127,565
当中間期末残高	669,444	718,668
株主資本合計		
当期首残高	48,389	206,732
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
当中間期変動額合計	236,684	127,565
当中間期末残高	285,073	334,298
その他の包括利益累計額		
(省略)		
純資産合計		
当期首残高	607,009	447,098
当中間期変動額		
中間純損失()	238,190	128,673
土地再評価差額金の取崩	1,506	1,107
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	7,037	461
当中間期変動額合計	243,721	128,027
当中間期末残高	363,288	319,071

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
 (訂正前)

前中間連結会計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,095,005	1,199,058	2,294,064	205,585	2,499,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,089	187,247	193,336	6,270	199,607
計	1,101,094	1,386,306	2,487,401	211,855	2,699,257
セグメント利益又は損失()	177,141	31,135	208,277	14,353	193,923
セグメント資産	2,466,183	893,107	3,359,291	470,445	3,829,737
その他の項目					
減価償却費	49,757	9,182	58,940	3,032	61,973
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	32,820	2,745	35,566	3,164	38,730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

なお、自動車学校事業は平成24年8月をもって事業廃止いたしました。

当中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,039,817	1,284,346	2,324,164	117,367	2,441,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,569	90,077	94,646	84,446	179,093
計	1,044,386	1,374,424	2,418,810	201,813	2,620,624
セグメント利益又は損失()	155,225	12,872	168,098	38,892	129,206
セグメント資産	2,437,526	860,020	3,297,547	494,410	3,791,957
その他の項目					
減価償却費	55,763	2,899	58,663	4,405	63,069
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	16,642	-	16,642	-	16,642

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

(訂正後)

前中間連結会計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,095,005	1,199,058	2,294,064	205,585	2,499,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,089	187,247	193,336	6,270	199,607
計	1,101,094	1,386,306	2,487,401	211,855	2,699,257
セグメント利益又は損失()	177,141	31,135	208,277	14,353	193,923
セグメント資産	2,410,633	893,107	3,303,741	470,445	3,774,187
その他の項目					
減価償却費	49,757	9,182	58,940	3,032	61,973
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	32,820	2,745	35,566	3,164	38,730

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、自動車学校事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

なお、自動車学校事業は平成24年8月をもって事業廃止いたしました。

当中間連結会計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	運輸事業	流通事業	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	1,039,817	1,284,346	2,324,164	117,367	2,441,531
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,569	90,077	94,646	84,446	179,093
計	1,044,386	1,374,424	2,418,810	201,813	2,620,624
セグメント利益又は損失()	155,225	12,872	168,098	38,892	129,206
セグメント資産	2,381,976	860,020	3,241,997	494,410	3,736,407
その他の項目					
減価償却費	55,763	2,899	58,663	4,405	63,069
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	16,642	-	16,642	-	16,642

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行事業、不動産事業、広告事業、レンタカー事業、自動車整備事業等であります。

4. 報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(訂正前)

(省略)

(単位:千円)

資産	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	3,359,291	3,297,547
「その他」の区分の資産	470,445	494,410
全社資産(注)	362,366	314,422
セグメント間取引消去	136,331	127,890
中間連結財務諸表の資産合計	4,055,772	3,978,490

(注) 全社資産は主として本社土地建物であります。

(省略)

(訂正後)

(省略)

(単位:千円)

資産	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	3,303,741	3,241,997
「その他」の区分の資産	470,445	494,410
全社資産(注)	362,366	314,422
セグメント間取引消去	136,331	127,890
中間連結財務諸表の資産合計	4,000,222	3,922,940

(注) 全社資産は主として本社土地建物であります。

(省略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
1株当たり純資産額	678.55円	505.54円

(省略)

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当中間連結会計期間 (平成25年9月30日)
1株当たり純資産額	603.48円	430.48円

(省略)

独立監査人の中間監査報告書

平成27年12月24日

福井鉄道株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 田光 完治 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田 健一 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている福井鉄道株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の訂正後の中間連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記について中間監査を行った。

中間連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間連結財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間連結財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間連結財務諸表には全体として中間連結財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間連結財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間連結財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的な手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間連結財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間連結財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間連結財務諸表の作成基準に準拠して、福井鉄道株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する中間連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

その他の事項

半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、中間連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の中間連結財務諸表に対して平成25年12月26日に中間監査報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は半期報告書提出会社が別途保管しております。

2．中間連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。